信濃教育会報

第1079号
令和３年７月15日発行
URL https://www.shinkyo.or.jp
shinkyo@shinkyo.or.jp

公益社団法人 信濃教育会
長野市旭町 1098
☎026(232)2470
編集兼発行人／武田 育夫

「わたしたちの思いをかたちに」
本校３学年は，卒業制作として３年間で学び得た様々なことを，試行錯誤しながら，ひとつのブロンズ像としてかたちづくってきました。昭和55年から続く３年生の思いをかけた像は，令和２年度末現在41体となりました。それらは八ヶ岳美術館彫刻の森に展示され，いつでも「あの日」に戻れる場となっています。（原中学校）

定時総会報告… 2〜3　**令和２年度収支決算書**… 4〜5　**研究調査委員会の活動紹介**… 6〜7
掲示板… 8　**常任委員会での研修報告**… 8　**基礎講座参加者の声**… 9
リレー通信　わたし自慢㉓　父の背中　小沢正太郎（穂高西中学校）… 9
100年館の絵　小林　優（筑摩小学校）… 10　**会員ひろば（古牧小学校）**… 10

8月の研修ガイド

１日（日）〜９日（月）
●**第104回信濃木崎夏期大学** ◎信濃公堂 ◇諸富徹，佐藤学，青柳正規，久保文明，岡村定矩，林良博，藤原克己，菅原ますみ，長谷川寿一 ☆信濃木崎夏期大学事務所 0261-22-0440

３日（火）●**中国の食文化と教育事情，簡単な中国語のあいさつ** ◎佐久教育会館・図書館 ◇渡辺エイコ（佐久市在住，中国語講師，通訳，教育サポーター）☆佐久教育会 0267-67-2043

22日（日）●**第２回 ICT 教育活用体験会** ◎佐久市市民創練センター ◇詳細は野沢中学校ホームページ内特設ページをご覧ください ☆佐久教育会 0267-67-2043

24日（火）●**教育懇談会（先輩の話を聞く会）** ◎東筑摩塩尻教育会館講堂 ◇「東筑摩塩尻教育会と満蒙開拓青少年義勇軍の送出〜波田小学校・広丘小学校を中心として〜」青柳直良（平成12年度東筑摩塩尻教育会長） ☆東筑摩塩尻教育会 0263-32-1187

●名称　◎会場　◇演題・講師等（講師名敬称略）　☆連絡先

定時総会報告

「三智」の理念に立った「教育会」のすぐれた仕組みを生かそう

‥‥ 会員増，50代の教職員や女性が活躍できる信濃教育会を ‥‥

令和３年度第１回定時総会が６月22日（火）に信濃教育会講堂おいて，コロナウイルス感染症感染拡大防止のために，各郡市教育会から選出された代議員の約半数（全代議員数50名のうち28名）の出席のもと開催された。最初に総会の正副議長が選出され，第１号議案及び第２号議案が上程され，報告・承認・選任された。続いて別室で開催された臨時理事会では，５名の理事及び２名の監事の出席のもと，定款第22条第１項の規定に基づき，会長及び３名の業務執行理事が選定された。以下定時総会の概略を報告する。

【武田会長あいさつ】

○各郡市代議員，常任委員の皆様には信濃教育会を支えていただいていること感謝。また，信濃教育会の会員増や雑誌「信濃教育」購読増など，積極的・主体的に取組んでいただいていることありがたく思う。

○教育会のねらいの一つは「人を育てる」ことである。木曽の大桑中学校には郷土の文豪島崎藤村の言葉を刻んだ石碑があると聞く。「人の世には三智がある。学んで得る智，人と交わって得る智，みづからの体験によって得る智がそれである」人を育てる，人が育つということは，まさにこのことであるように思う。しかし，昨今の研修（研究と修養）は，「学んで得る智」がほとんどである。人と交わることや体験することを重視していない。世の中の風潮がそうさせている部分もあるし，教職員の気質の変化もあるのだろう。

○信濃教育会や郡市教育会の活動には，その文脈の中に「三智」が埋め込まれている。教育会の仕事は，人とのかかわりが常に必要なことであるし，仕事そのものが体験的である。そこでは，人の心をつかむこと，難しい人でもなんとかまるめ込むこと，段取りを組み実践すること，意見が合わない人ともなんとか折り合いをつけることなど，多様な智を得ることができる。実はこのような力が，柔軟で大胆な教育課程を構想したり，子どもと共に授業を創っていったりする時に，必要な力である。また，このような力は，管理職のマネジメント力の基盤になることを，校長を退いてからなおさら強く感じる。

○教育会は，様々な学校から集まる教職員の集合する場である。校内ではできないであろう多くの学びの機会を与えてくれる。

○「教育会」という仕組みは優れた仕組みである。教職員が「教育会に入って意味があるのか？」と問うた時，教職の道を歩む先輩として，きちんと答えたいものだ。先生たちは子どものために，もっといい授業をしたいと思っているし，もっと子どもの気持ちに寄り添いたいと思っている。そのために研修の機会を求めているのだ。

○私たちは力を合わせ，変化することをためらうことなく，信州の先輩教職員がつくってくれた「教育会」という仕組みを，進化させていきたい。信州教育の基本的理念である「子どもを中心にして」を不易なものとして，さらなる改革，改善に取組んで参りたい。

【正副議長の選出】

議長　　長野上水内教育会　宮澤俊充代議員
副議長　大学教育会　　村松浩幸代議員

【議　事】

報告事項　「令和２年度公益社団法人信濃教育会事業報告」に関する件
第１号議案「令和２年度公益社団法人信濃教育会決算の承認」に関する件（別掲）
第２号議案「公益社団法人信濃教育会　理事６名及び監事２名の選任並びに会長，副会長，専務理事，常務理事候補者の選任」に関する件

【協　議】

⑴　令和３年度信濃教育会事業
⑵　令和３年度信濃教育会収支予算書
⑶　令和３年度総会の年間計画

【臨時理事会報告】（満期役員選定結果）

代表理事・会長 武田育夫氏，副会長 宮﨑樹夫氏，専務理事 大日方貞一氏，常務理事 熊谷邦千加氏，理事 高野直樹氏・北村康彦氏，監事 小松恭子氏・相澤篤信氏

【報告・連絡】

⑴　教育研究所本年度の運営方針

⑵　講習・講座の計画
⑶　全県研究大会の概要及び令和３年度全県研究大会に向けて
⑷　第72回日本連合教育会研究大会香川大会について
⑸　第25回教育研究論文・教育実践賞の募集
⑹　「短期視察研修補助事業」「自主的校内研修補助事業」の申し込み状況
⑺　第18回信州“教育の日”木曽大会について
⑻　第40次日中友好長野県教育者訪中団について
⑼　第135回信濃教育会総集会下伊那大会について
⑽　「各種委員会名簿」について
⑾　第２回臨時総会について
⑿　その他

【情報交換】

《本年度の会員加入状況・購読状況・活用状況について》

・校長会で会員数の現在の状況について教育会長から伝えることで，危機感を持ってもらうようにしている。
・育休で未加入の先生方へは，「災害見舞金制度」の良さを強調して伝えている。
・年度末からチラシを作ったり，代議員や校長会で呼びかけを行ったりの準備をし，年度初めの会員募集に備えた。
・50代の未加入者が多かったのでこの方々を中心に加入促進に取組んでいる。
・未入会者の事情を理解した上で，丁寧に教育会の意義を伝えたことで入会者が増えた。
・代議員が個々に声をかけながら入会の誘いをしたため，入会者が増えた。
・校長会において会員拡大の必要性，メリットなどを何度も校長先生方に伝えている。
・新任者歓迎会の折りに声掛けを行い，教育会のメリットを伝えた。

《郡市教育会だけ入っている先生にどうしたら信濃教育会にも入会してもらえるか》

・信濃教育会での研修経験者が，輝いて見えたり憧れに感じたりすることが入会促進のプラスとなる。
・信濃教育会がより身近なものに感じられる働き掛けや，郡市教育会や校長会を通して魅力を伝えることが良い。
・校長だけではなくミドルリーダーから若い先生への呼びかけも効果的である。
・「『極意』伝承道場」など新しい事業を信濃教育会が行ったり，職員に活躍の場をいただけたりすることが大事だと思う。
・入会する前に体験してみるなどして面白さをまず経験してもらえば，参加者も信濃教育会の会員も増えるのではないか。

《雑誌『信濃教育』，「Booklet 信教」，「ふるさとの大地」の購読状況と，活用状況について》

・信濃教育会で作った顔写真入りのチラシと申込書をセットで校長に配ったところ，３校から申し込みがあった。
・武田会長の巻頭言や編集後記を職員に紹介した。そこに込められた言葉だけでも信濃教育会の良さや先輩が伝えてくれたものに触れることができ，若い先生はそういうことがきっかけで興味を持つと思う。
・学校用の冊子を読んでいる，回覧するときにも付箋を付けるほど読み込んでいるので，買う必要が無いと言われた。手元に置くことの良さを伝えたい。
・教務主任などのミドルリーダーが，申し込みのチラシが届いた時にタイムリーかつ丁寧に声を掛けることで，購読数を増やしている。

【閉会のあいさつ】

○信濃教育会長に選定いただきました。引き続きよろしくお願いします。
○最近，課題だと思っているのは，教職員に信濃教育会の情報をどう伝えるかである。Facebook などを活用し，雑誌『信濃教育』の巻頭言の裏側の話など書けないかと考えてる。ＳＮＳを有効に使うことは今の時代当然である。できるだけ有効に使い，会員に伝えていきたい。
○会員増にかかわっては，３つの課題がある。
○１つ目は，50代の方々に引き続き加入していただくことである。ベテランの先生方が活躍していただける信濃教育会にしていくことが重要であると考えている。
○２つ目は，女性の会員数が年代が上がるにつれて減少していくことである。信濃教育会が女性が生き生きと活躍する会に変わっていくためにご協力いただきたい。
○３つ目は，講師や再任用の方々に多く加入していただくにはどうするかということである。
○皆さんの知恵を借りながら，この３つの課題に取組み信濃教育会をさらに活性化したい。
○本日はありがとうございました。

（別掲）

公益目的事業収支決算書

（令和２年４月１日～令和３年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度決算額	本年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	281	357	76
(2) 受取会費	154,517,370	156,098,100	1,580,730
(3) 事業収益	44,483,377	40,608,000	△3,875,377
1 購読収益	14,275,410	13,617,000	△658,410
2 受取印税	30,111,567	26,500,000	△3,611,567
3 講座受講料	0	441,000	441,000
4 会館使用料	96,400	50,000	△46,400
(4) 受取寄付金	0	0	0
(5) 雑収益	419,619	48,250	△371,369
経常収益合計 (A)	199,420,647	196,754,707	△2,665,940
2 経常費用の部			
【公益目的事業費】	165,018,803	194,369,942	29,351,139
(1) 職能研修事業費	16,037,265	38,500,000	22,462,735
1 研究調査費	3,739,115	5,690,000	1,950,885
1 委員会費	1,980,740	3,610,000	1,629,260
2 旅費交通費	10,440	120,000	109,560
3 通信運搬費	364,709	420,000	55,291
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	121,177	160,000	38,823
6 印刷製本費	811,943	1,040,000	228,057
7 諸謝金	400,932	260,000	△140,932
8 雑費	49,174	80,000	30,826
2 福祉教育資料研究調査費	21,152	264,000	242,848
1 委員会費	0	190,000	190,000
2 旅費交通費	0	24,000	24,000
3 通信運搬費	1,152	5,000	3,848
4 支払助成金	20,000	40,000	20,000
5 支払寄付金	0	0	0
6 雑費	0	5,000	5,000
3 教育研究所運営費	1,753,538	4,163,000	2,409,462
1 委員会費	74,990	320,000	245,010
2 旅費交通費	954,490	2,558,000	1,603,510
3 通信運搬費	126,375	170,000	43,625
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	130,928	286,000	155,072
6 印刷製本費	414,233	500,000	85,767
7 諸謝金	0	100,000	100,000
8 支払負担金	39,400	40,000	600
9 雑費	13,122	189,000	175,878
4 講習講演会費	665,805	4,638,000	3,972,195
1 旅費交通費	382,419	2,200,000	1,817,581
2 通信運搬費	27,575	112,000	84,425
3 消耗品費	14,512	270,000	255,488
4 印刷製本費	29,700	0	△29,700
5 賃借料	0	210,000	210,000
6 諸謝金	211,599	661,000	449,401
7 支払助成金	0	800,000	800,000
8 雑費	0	385,000	385,000
5 教育研究大会費	2,212,256	9,490,000	7,277,744
1 委員会費	0	0	0
2 旅費交通費	619,080	3,410,000	2,790,920
3 通信運搬費	11,704	105,000	93,296
4 消耗品費	24,547	100,000	75,453
5 印刷製本費	56,925	100,000	43,075
6 賃借料	0	0	0
7 諸謝金	0	1,590,000	1,590,000
8 支払負担金	0	100,000	100,000
9 支払助成金	1,500,000	3,915,000	2,415,000
10 雑費	0	170,000	170,000
6 視察派遣助成費	457,914	6,075,000	5,617,086
1 委員会費	137,880	570,000	432,120
2 旅費交通費	0	500,000	500,000
3 通信運搬費	434	60,000	59,566
4 支払負担金	319,600	380,000	60,400
5 支払助成金	0	4,510,000	4,510,000
6 雑費	0	55,000	55,000
7 教育会研修助成費	418,000	1,000,000	582,000
1 支払助成金	418,000	1,000,000	582,000
8 応募型研修助成費	6,769,485	7,180,000	410,515
1 旅費交通費	129,790	15,000	△114,790
2 通信運搬費	22,566	30,000	7,434
3 消耗品費	28,485	80,000	51,515
4 印刷製本費	29,370	30,000	630
5 諸謝金	22,274	25,000	2,726
6 支払助成金	6,537,000	7,000,000	463,000
(2) 教育図書研究調査事業費	23,910,916	32,750,000	8,839,084
1 教科用図書研究委員会費	6,297,764	12,985,000	6,687,236
1 委員会費	5,106,792	10,589,000	5,482,208
2 旅費交通費	74,670	550,000	475,330
3 通信運搬費	130,285	200,000	69,715
4 消耗什器備品費	0	300,000	300,000
5 消耗品費	925,017	1,164,000	238,983
6 諸謝金	0	80,000	80,000
7 雑費	61,000	102,000	41,000
2 学術図書研究委員会費	17,613,152	19,765,000	2,151,848
1 委員会費	314,940	340,000	25,060
2 旅費交通費	22,280	130,000	107,720
3 通信運搬費	2,277,701	2,500,000	222,299
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	73,723	110,000	36,277
6 印刷製本費	11,897,490	13,315,000	1,417,510
7 諸謝金	1,372,634	1,890,000	517,366
8 期首商品棚卸高	14,269,012	14,100,000	△169,012
9 期末商品棚卸高	△14,044,593	△14,300,000	△255,407
10 雑費	1,429,965	1,680,000	250,035
(3) 生涯学習振興事業費	3,050,592	3,662,000	611,408
1 教育博物館運営費	1,713,240	1,393,000	△320,240
1 委員会費	178,430	172,000	△6,430
2 旅費交通費	117,380	50,000	△67,380
3 通信運搬費	76,950	131,000	54,050
4 消耗品費	323,890	200,000	△123,890
5 印刷製本費	634,216	460,000	△174,216
6 諸謝金	0	50,000	50,000
7 支払助成金	300,100	300,000	△100
8 雑費	82,274	30,000	△52,274
2 生涯学習推進支援事業費	1,337,352	2,269,000	931,648
1 委員会費	0	70,000	70,000
2 旅費交通費	12,800	120,000	107,200
3 通信運搬費	97,142	150,000	52,858
4 消耗什器備品費	55,660	50,000	△5,660
5 消耗品費	48,542	250,000	201,458
6 修繕費	49,500	150,000	100,500
7 印刷製本費	0	0	0
8 光熱水料費	361,468	470,000	108,532
9 保険料	156,680	189,000	32,320
10 諸謝金	0	100,000	100,000
11 委託費	550,440	570,000	19,560
12 雑費	5,120	150,000	144,880
(4) 事業共通費	122,020,030	119,457,942	△2,562,088
1 役員報酬	5,110,721	3,918,786	△1,191,935
2 給料手当	66,085,693	65,809,966	△275,727
3 退職給付費用	2,261,171	2,111,377	△149,794
4 福利厚生費	10,981,524	10,476,307	△505,217
5 会議費	481,695	811,200	329,505
6 委員会費	189,415	139,200	△50,215
7 旅費交通費	828,573	709,800	△118,773
8 渉外応接費	224,912	405,600	180,688
9 通信運搬費	604,268	1,006,500	402,232
10 減価償却費	11,043,098	11,032,603	△10,495
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	2,729,762	1,744,600	△985,162
13 修繕費	146,153	201,300	55,147
14 印刷製本費	540,209	540,800	591
15 光熱水料諸費	11,647,853	11,943,800	295,947
16 賃借料	2,830,640	3,042,000	211,360
17 保険料	226,961	217,383	△9,578
18 租税公課	2,341,541	2,710,320	368,779
19 支払負担金	2,084,357	2,163,200	78,843
20 委託費	989,560	0	△989,560
21 雑費	671,924	473,200	△198,724
【管理費】	40,269,893	43,547,253	3,277,360
1 会議費	498,102	1,939,200	1,441,098
1 総会費	272,950	1,600,000	1,327,050
2 理事会費	63,550	50,000	△13,550
3 監事会費	19,600	30,000	10,400
4 共通会議費	142,002	259,200	117,198
2 会報発行費	3,298,239	3,761,000	462,761
1 委員会費	35,620	60,000	24,380
2 旅費交通費	0	50,000	50,000
3 通信運搬費	858,992	800,000	△58,992
4 消耗品費	4,542	16,000	11,458
5 印刷製本費	2,399,085	2,800,000	400,915
6 諸謝金	0	30,000	30,000
7 雑費	0	5,000	5,000

3 事務費	36,473,552	37,847,053	1,373,501
1 役員報酬	4,480,258	5,529,903	1,049,645
2 給料手当	16,513,043	16,683,472	170,429
3 退職給付費用	666,588	674,641	8,053
4 福利厚生費	3,237,328	3,347,459	110,131
5 旅費交通費	411,562	276,800	△134,762
6 渉外応接費	475,614	729,600	253,986
7 通信運搬費	288,638	347,000	58,362
8 減価償却費	2,205,517	2,202,834	△2,683
9 消耗什器備品費	0	0	0
10 消耗品費	1,020,873	666,800	△354,073
11 修繕費	43,824	115,400	71,576
12 印刷製本費	387,524	472,800	85,276
13 光熱水料諸費	3,492,661	3,880,400	387,739
14 賃借料	834,466	972,000	137,534
15 保険料	57,983	55,544	△2,439
16 租税公課	0	0	0
17 支払負担金	637,484	741,200	103,716
18 委託費	764,720	500,000	△264,720
19 雑費	955,469	651,200	△304,269
経常費用合計 (B)	205,288,696	237,917,195	32,628,499
当期経常増減額 (A) － (B)	△5,868,049	△41,162,488	△35,294,439
他会計振替額	10,511,660		
当期一般正味財産増減額	4,643,611		
一般正味財産期首残高	329,530,873		
一般正味財産期末残高	334,174,484		
Ⅱ 正味財産期末残高	334,174,484		

出版事業収支決算書

（令和２年４月１日～令和３年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度決算額	本年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	9	13	4
(2) 事業収益	14,836,367	15,180,000	343,633
1 購読収益	12,304,000	12,480,000	176,000
2 受取印税	2,532,367	2,700,000	167,633
(3) 雑収益	1,689	4,250	2,561
経常収益合計 (A)	14,838,065	15,184,263	346,198
2 経常費用の部			
1 役員報酬	427,577	418,093	△9,484
2 給料手当	2,568,016	2,948,791	380,775
3 退職給付費用	94,760	103,070	8,310
4 福利厚生費	460,208	511,417	51,209
5 会議費	20,187	39,600	19,413
6 委員会費	274,395	300,800	26,405
7 旅費交通費	34,723	34,650	△73
8 渉外応接費	9,426	19,800	10,374
9 通信運搬費	817,507	751,000	△66,507
10 減価償却費	402,192	250,071	△152,121
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	122,340	98,400	△23,940
13 修繕費	6,382	10,200	3,818
14 印刷製本費	5,470,763	5,576,400	105,637
15 光熱水料諸費	508,640	605,200	96,560
16 賃借料	216,074	318,500	102,426
17 保険料	6,935	6,793	△142
18 諸謝金	0	0	0
19 租税公課	774,541	1,000,040	225,499
20 支払負担金	87,350	105,600	18,250
21 委託費	1,167,138	1,890,000	722,862
22 雑費	294,213	303,100	8,887
経常費用合計 (B)	13,763,367	15,291,525	1,528,158
当期経常増減額 (A) － (B)	1,074,698	△107,262	△1,181,960
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	1,074,698		
法人税・住民税及び事業税	33,758		
当期一般正味財産増減額	1,040,940		
一般正味財産期首残高	36,866,478		
一般正味財産期末残高	37,907,418		
Ⅱ 正味財産期末残高	37,907,418		

不動産貸与事業収支決算書

（令和２年４月１日～令和３年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度決算額	本年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	6,021	4,011	△2,010
(2) 事業収益	14,300,600	13,892,600	△408,000
1 貸家賃貸料	9,978,600	9,548,600	△430,000
2 貸地賃貸料	4,322,000	4,344,000	22,000
(3) 受取負担金	2,066,510	3,000,000	933,490
(4) 雑収益	147	1,000	853
経常収益合計 (A)	16,373,278	16,897,611	524,333
2 経常費用の部			
1 役員報酬	427,577	418,093	△9,484
2 給料手当	2,349,796	2,371,385	21,589
3 退職給付費用	88,225	84,330	△3,895
4 福利厚生費	428,470	418,432	△10,038
5 会議費	18,794	32,400	13,606
6 旅費交通費	32,329	28,350	△3,979
7 渉外応接費	8,775	16,200	7,425
8 通信運搬費	24,628	42,000	17,372
9 減価償却費	5,686,993	5,569,854	△117,139
10 消耗什器備品費	528,000	0	△528,000
11 消耗品費	242,017	72,800	△169,217
12 修繕費	202,417	108,400	△94,017
13 印刷製本費	21,077	21,600	523
14 光熱水料諸費	2,586,886	3,548,400	961,514
15 賃借料	602,468	621,500	19,032
16 保険料	157,359	145,290	△12,069
17 租税公課	1,874,818	2,089,640	214,822
18 支払負担金	81,326	86,400	5,074
19 委託費	38,610	0	△38,610
19 雑費	102,337	98,900	△3,437
経常費用合計 (B)	15,502,902	15,773,974	271,072
当期経常増減額 (A) － (B)	870,376	1,123,637	253,261
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	870,376		
法人税・住民税及び事業税	37,242		
当期一般正味財産増減額	833,134		
一般正味財産期首残高	174,524,651		
一般正味財産期末残高	175,357,785		
Ⅱ 正味財産期末残高	175,357,785		

災害見舞金事業収支決算書

（令和２年４月１日～令和３年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度決算額	本年度予算額	増　　減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	31,453,376	31,070,019	△383,357
(2) 受取会費	3,000,000	3,000,000	0
経常収益合計 (A)	34,453,376	34,070,019	△383,357
2 経常費用の部			
1 役員報酬	1,160,683	1,142,765	△17,918
2 給料手当	3,786,942	3,829,126	42,184
3 退職給付費用	156,844	149,920	△6,924
4 福利厚生費	761,724	743,880	△17,844
5 会議費	33,412	357,600	324,188
6 旅費交通費	57,473	50,400	△7,073
7 渉外応接費	15,601	28,800	13,199
8 通信運搬費	60,969	88,500	27,531
9 減価償却費	375,586	375,104	△482
10 消耗什器備品費	0	0	0
11 消耗品費	194,699	127,400	△67,299
12 修繕費	10,424	14,700	4,276
13 印刷製本費	37,471	38,400	929
14 光熱水料諸費	830,778	872,200	41,422
15 賃借料	196,345	216,000	19,655
16 保険料	10,402	9,990	△412
17 支払負担金	144,580	153,600	9,020
18 支払見舞金	3,821,220	15,000,000	11,178,780
1 死亡・障害見舞金	1,500,000	9,000,000	7,500,000
2 入院・通院見舞金	1,469,500	3,000,000	1,530,500
3 自然災害見舞金	851,720	3,000,000	2,148,280
19 委託費	68,640	0	△68,640
20 雑費	49,027	38,600	△10,427
経常費用合計 (B)	11,772,820	23,236,985	11,464,165
当期経常増減額 (A) － (B)	22,680,556	10,833,034	△11,847,522
当期経常外収益	643,527		
他会計振替額	△10,511,660		
当期一般正味財産増減額	12,812,423		
一般正味財産期首残高	1,240,650,373		
一般正味財産期末残高	1,253,462,796		
Ⅱ 正味財産期末残高	1,253,462,796		

令和３年度研究調査委員会の活動紹介

子どもたちの学びの質の向上を目指して

今年度は，６委員会に148名の委員が所属して，教育現場の課題に応えようと，委員会ごとのテーマに基づき実践的な研究をすすめています。

研究調査活動の成果は，全県研究大会や「Booklet 信教」，雑誌『信濃教育』，信濃教育会の HP 等を通して会員に発信していきます。

全県研究大会運営研究調査委員会
全県研究大会研究調査委員会

「わたし（授業者）の自己課題」解決に向けた一歩一歩
～日々の自分の歩みと重ねながら学び合いましょう～

令和２年度全県研究大会「研究討議」の様子

授業者の持つ自己課題の解決を軸として，会場校と研究調査委員が協同して研究をしていきます。１時間の授業や単元を取り上げた単発的な研究ではなく，自己課題の解決に向けて積み重ねていく研究のプロセスを大切に考えています。

大会当日は，公開授業参観という形ではなく，VTR やパワーポイントを使った「自己課題の解決に向けたプロセス」（「わたしの一歩一歩」）の発表を受けて，そこから導き出された討議の柱をもとに，小グループや全体での研究会をもちます。

ICT研究調査委員会

目的は機器の活用ではなく，
「授業改善」「学びの深化」

タブレット等の活用が本格的に始まっていますが，「授業改善」や「学びの深化」につながっているのでしょうか？

信濃教育会では，オンラインで開催する委員会と先進地視察等で，「授業改善」，「学びの深化」を図るための効果的な ICT 活用について研究することとしました。委員は教室から ICT による授業改善を進める先頭に立つ決意をかためています。

研究の成果は，雑誌『信濃教育』等の媒体で会員に還元していきます。

オンラインで授業参観も行いました

学級づくり研究調査委員会

質の高い学級集団をめざして

学級づくり研究調査委員会は，自ら応募してこられた９名の委員で，研究調査を行っています。委員の皆さんは，それぞれに課題意識があり，悩みを持ちながら，子どもたちと共によりよい集団づくりに日々努力しています。信州大学の高柳充利先生，元天龍村教育長の板倉恒夫先生，松本大学の岸田幸弘先生の優れた講師陣とともに，学びを深めていきます。学級づくりに実績を持つ学校現場の先生にも学ぶ予定です。

特別支援教育研究調査委員会

「自閉症スペクトラム児童生徒の，自立活動における人間関係の形成力の育成」について考える

特別支援学級・通常学級・特別支援学校・高等学校で丁寧な支援が求められる，「自閉症スペクトラムの児童生徒たちの，人とかかわる力を育てるための研究調査」を進めています。

本年度は研究調査方法を大きく変えて，「専門家から学ぶ“信州大学教育学部の永松裕希先生・下山真衣先生の講義”」「先進校から学ぶ“軽井沢風越学園参観研修”」「自己テーマと実践を考え合おう“委員同士の意見交換”」の３つの柱で考え合います。

福祉教育資料研究調査委員会

長野県の各地から福祉教育の最新情報をお届けします

ボランティア新聞のルーツは，長野県社会福祉協議会によって昭和51年に発行された「やまびこだより」に始まります。平成10年，信濃教育会は県社協の委託を受け福祉教育資料委員会を設置し，長野県内の校種を超えたさまざまな学校の福祉教育の様子やボランティア活動などを紹介してきました。特集記事では，防災教育やSDGｓなど，最新情報も積極的に取り上げています。ボランティア新聞は教師用の指導の手引きとともに小・中学校別に年２回発行し，児童生徒や先生方から好評をいただいています。

掲示板

第135回
信濃教育会総集会下伊那大会

先月号の会報（第1077号）でお伝えした第135回信濃教育会総集会下伊那大会オンデマンド開催の公開期間は
7月19日～8月31日 です。
ぜひご覧ください。

令和３年度　子ども絵画企画展
「輝く～人・もの・風景～」
開催中

会　期　**７月９日（金）～８月６日（金）**
時　間　**９時～17時**（最終入館16時30分）
会　場　信濃教育博物館

期間中無休
入場無料

「教職員川柳」募集中！

会報裏表紙「教職員川柳」コーナーでは会員のみなさまの川柳を募集しています。
ふと頭に浮かんだ一句，練りに練った渾身の一句，ぜひご投稿ください！
優秀な作品には賞品をご用意しております。

①学校名，②氏名
③ペンネーム（作品掲載時に利用）
を添えて ✉ kaihou@shinkyo. or. jp
までお気軽にお送りください。
ご応募をお待ちしております。

常任委員会での研修報告

６月４日に開催されました第３回常任委員会の中で，一般社団法人「こたえのない学校」代表藤原さと様から，「学校教育の現状とこれからの教育」と題して，ご講演を頂きました。

藤原様は，2018年，経済産業省「未来の教室」事業の採択を受け，世界屈指のプロジェクト型学習を行う「High Tech High」の教員研修プログラムの日本導入に携わりました。現在は，学校のアドバイザーや各種研修を行うほか，教員，保護者，企業など複数のステークホルダーと協働して様々なプロジェクトを立ち上げ活動されておられます。

講演では，終始「教師は何をする人ですか」の問いのもと，30年後の社会を見据え，これからの教育のあるべき姿について語られました。今後，いっそう「こたえのない世界」が広まり，「一人一人が未来を創り出す世界」へと変容する中で，「教える教育」から，「創る教育」への転換の重要性を指摘されました。そして，「探究する学び」に繋げ，これからの教育の方向を，具体的な事例をもとに語ってくださいました。

最後に，「『正解を求める』人材を育成していませんか。正解の伝授だけならメディアを使えばできます。子どもたちは，探究者としての教師の後ろ姿（人間性）に学びます」と語られました。本県で大事にしてきた「教育は人なり」の言葉と重ねてお聴きしました。

基礎講座参加者の声

オーケストラ

６月25日（金）・26日（土）　信濃教育会館　　**受講者数 41名**

●新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，２年ぶりの開催となり，開催形態も弦楽合奏での限定的な形となりました。しかし，毎年参加させていただいてきた私にとって，音楽を先生方と共にでき，追究できる時間は大変素晴らしいものでした。寺島先生の明晰なご指導のもと，充実した研修となりました。with コロナでできることを行うことが，きっと日々の教育やくらしを豊かにしてくれると，改めて実感した２日間でした。

●今年の講座内容は，弦楽器を中心としたアンサンブルでした。何より楽しかったのは，寺島先生のご指導の下，私自身が生徒になった気分で音楽に没頭できたこと。先生のタクトや指示に集中しながら仲間と音楽をつくりあげていく時間は本当に充実していて，この楽しく気持ちいい感覚を学校の子どもたちにも体感させてあげたいという思いを強くしました。私たち教える立場にある者が「自ら学ぶ」ことの大切さを改めて感じた２日間でした。

リレー通信

わたし自慢㉓

父の背中

穂高西中学校　小沢正太郎

うちの父は，この業界ではちょっとした有名人である。「どっこい清掃」と聞いて，ピンとくる方もいるだろう。偉人のように語られることもしばしばだが……はっきり言って父は変わっている。

父がもつ野球部は，農作業部へと姿を変える。練習並みに農業にも精を出すのだ。そして，三度の飯より「焼き肉」が好きである。正確には，焼き肉だ鍋だと称して，人を呼ぶのが好きなのだ。が，大抵準備や片付けは母や子どもたちの仕事である。「正太郎，こっちに来い」としょっちゅう呼ばれたため，働きだして，「大きくなったなぁ」と声をかけてくださる先生方の多いこと。

家にはほとんどおらず，休日，家から３㎞のホームセンターに出かけると告げ，夜まで帰ってこないことはざらであった。祖母はそんな父を「鉄砲玉」と密かに呼んでいた。

熱しやすく冷めやすいのも特徴である。一時期，取り憑かれたように釣りにのめり込み，足繁く海に通い，大量の釣り具たちが所狭しと家に並べられた。同行した折，シケで誰もが船酔いと格闘する中，唯一父だけが平然とおにぎりをほおばっていた姿は圧巻だった。

そんな滅茶苦茶な父だが，慕ってくださる方は多い。私も，なんだかんだ人生の岐路で父の言葉や姿に支えられてきた。齢74にして今も毎日飛び回るパワフルな父。そして未だに届く武勇伝を耳にするたび，申し訳なさと同時に，なぜかちょっと誇らしくもあるのだ。父の背中は，まだまだ遠い。（目指したくはないけれど。）

信濃教育 予告

100年館の絵

令和２年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵

指導者
小林　優（筑摩小学校）

ハサミで黒画用紙を自由に切り、白画用紙の上に貼り付けていくという抽象画の学習でした。画用紙を切る段階で、子どもたちは「なみなみ」「ぎざぎざ」「ぐるぐる」などと、多様な切り方にチャレンジし、面白い形がたくさん生まれてきました。

この段階でそれぞれの子の個性が出て、眺めているだけでワクワクします。着色にはクレパスを使いました。もともと塗り込む力のある子どもたちでしたが、色を混ぜ合わせられるというクレパスの特性に出会い、塗り込んだり、こすったりする学習を大いに楽しみました。

日陽さんは、細長い形をたくさん作り、白画用紙に貼り付けてみると、迷路のようなものが見えてきました。着色では、似た色同士を混ぜ合わせ、溶け合うようなグラデーションが絶妙な、遠目から見てもパッと目を引く鮮やかな作品を完成させました。

「ふしぎなめいろ」
新井　日陽（下諏訪北小２年）

信濃教育博物館所蔵

会員ひろば

「ふるさとの森」での森林体験学習

木を未来に残していくお手伝い

本校校庭の東側に「ふるさとの森」と呼ばれる場所があります。毎年秋になると５年生はこの森でNPO法人の方々と一緒に木々の手入れをする体験学習をしています。その中に，将来大きくなりそうな木を残してその周りの木を切る活動がありました。講師の方から「人が植えた木は，最後まで人の手で手入れして育てなければ大きくならないのです」と教えていただき，ある子は友だちと相談しながら慎重にはさみを入れていきました。終わってから「ふるさとの森」を見上げて「どれを切っていいか迷っちゃったけれど，私の手入れした木が元気に大きくなったらいいな」と話してくれました。木を未来に残していくお手伝いができる体験学習，これからも続いていってほしいと思います。

（古牧小学校　堀内　優子）

教職員川柳

ユーチューブ　テレビ番組　競い合い（青クリリン）
子のマスク　鬼滅のキャラが　勢揃い（黒柳祢津子）
職員室　笑顔のあいさつ　華が咲く（ちょうようのせっく）
朝いちばん　笑みの呼吸　全集中（やますみ）

ご応募お待ちしています。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyo.or.jp
「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。